

2024年3月期 決算説明会 Q&A サマリー

Q: 国内の東北、春日井、四日市工場と海外の中国工場の現在の状況

A: 3Qから変更はございません。

Q: 自動 セグメント利益率が上昇した要因

A: リチウムイオン電池製造システムの受注を多くいただきました。生産性向上による改善活動や価格転嫁、セールスマックスの変化などが、利益率の上がった要因です。

Q: 在庫状況、生産体制

A: デバイスメーカーの減産等により在庫調整が進み始め、市況回復が見えてきました。加えて、生成AIなどが成長のけん引役となり活況になってきており、お客様の在庫状況は改善しているように見えますが、一律ではなく、在庫の状況によって、市況の回復は下期からとなる見込みです。

北陸工場や東北第2工場は、受注状況にあわせて体制を整えていきます。

Q: 人員の変化

A: 新しい工場では生産性が上がるので、同程度の売上高の時期と比べて、人員を抑えることができる予定です。

Q: 機器 半導体 今後の事業機会

A: テクニカルセンターの設立により、お客様に寄り添った提案活動を進めてきました。今後もお客様のそばで提案や評価を行い、技術課題の解決によって、ビジネスチャンスの拡大を目指します。

Q: 機器 半導体 中国 ビジネスの考え方

A: 中国はレガシー半導体に国策で力を入れており、その需要が堅調に推移していると考えております。米中貿易摩擦に関する新たな影響につきましては、現段階ではまだ見えておりませんが、引き続き注視してまいります。